

製品名: インターフェロン α/β 受容体 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00041**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 64 kDa; Observed MW: 90,130 kDa

抗原情報

遺伝子名	IFNAR1 IFNAR1; IFNAR; Interferon alpha/beta receptor 1; IFN-R-1; IFN-alpha/beta receptor 1;
別名	Cytokine receptor class-II member 1; Cytokine receptor family 2 member 1; CRF2-1; Type I interferon receptor 1
遺伝子 ID	3454
SwissProt ID	P17181
免疫原	ヒトインターフェロン α/β 受容体 1 の合成ペプチド

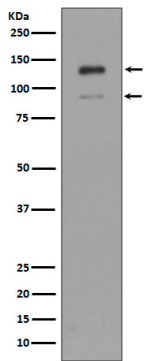
背景

インターフェロン α 、IFNB1、IFNW1 を含む I 型インターフェロン受容体の構成要素。通常は IFNAR2 とヘテロ二量体として機能。I 型インターフェロンの結合は JAK-STAT シグナル伝達カスケードを活性化し、JAK、TYK2、STAT タンパク質、そして IFN α および β サブユニット自体を含む多数のタンパク質のチロシンリン酸化を誘発する。単独で活性型 IFNB1 受容体を形成し、JAK-STAT 経路の活性化を伴わないシグナル伝達カスケードを活性化することができる。

研究分野

免疫学

画像データ



インターフェロン α/β 受容体 1 抗体を用いた K562 溶解物中の IFNAR1 のウエスタンブロット分析。